

成形加工におけるシミュレーション技術 ～最新のシミュレーション技術と現状の課題～

主 催：一般社団法人日本ゴム協会研究部会 成形加工技術研究分科会

協 賛：高分子学会、自動車技術会、石油学会、繊維学会、日本化学会、日本画像学会、日本機械学会、

(予定) 日本合成樹脂技術協会、日本材料学会、日本接着学会、日本トライボロジー学会、日本複合材料学会、
日本分析化学会、プラスチック成形加工学会、マテリアルライフ学会、日本レオロジー学会 (順不同)

今回のシンポジウムでは、成形加工工程におけるシミュレーション技術の現状と課題についてご説明いただきます。ゴムの成形加工におけるシミュレーション技術は、混練、押出、射出成形や加硫など多岐に渡ります。これらに加え、ゴム材料は一般的に多種のフィラーが配合され、更にそれらが高充てんされた非常に複雑な系を構成しており、シミュレーションの難易度を高くしております。この分野の第一線でご活躍されている方々に最新技術と課題をご説明いただきます。

日 時： 2019年11月21日(木) 10:00～16:40

場 所： 東部ビル 5階会議室(東京都港区元赤坂1-5-26 TEL: 03(3401)2957)

受講料： 日本ゴム協会会員・協賛団体会員 24,200円 日本ゴム協会学生会員 5,500円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも、ご所属が法人としてゴム協会会員(賛助会員)の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受け付けます。

シニア制度対象会員 12,100円(60歳以上の正会員) 会員外 33,000円

受講料には消費税・テキスト代を含みます。

申込方法： 弊会ホームページ (<http://www.srij.or.jp/>) よりお申し込みください(定員60名)。

送金方法： 銀行振込(三井住友銀行 日比谷支店 普通 7100847 一般社団法人日本ゴム協会)。振り込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。

問合先： 一般社団法人日本ゴム協会 第262回ゴム技術シンポジウム係

(〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階

TEL: 03(3401)2957 FAX: 03(3401)4143 E-mail: kenkyuubukai@srij.or.jp

	演 題	講 師
10:00～10:15	開会のあいさつ	成形加工技術研究分科会主査 近藤 寛朗
		【座長】横浜ゴム(株) 佐藤 有二
10:15～11:15	高分子成形加工における流動解析論 高分子成形加工における流動解析技術について、論文等を引用しながら解説する。	福井大学 田上 秀一 氏
11:15～12:05	Particleworks (MPS 粒子法) 紹介および自動車、ゴム関連技術への展開 プロメテック・ソフトウェア(株) 高倉 浩守 氏 粒子法解析ソフトウェア「Particleworks」等による解析事例を紹介する。	【座長】住友ゴム工業(株) 本田 慎一郎
12:55～13:45	ANSYS Polyflow によるゴム成形加工シミュレーション 有限要素法ソルバ ANSYS Polyflow によるゴム成形解析事例を紹介する。	アンシス・ジャパン(株) 富田 晋平 氏
13:45～14:35	ゴム射出成形及び加硫シミュレーション 製品に対する性能及び品質向上の要求に対して、近年実用レベルで成果が出ているゴムの射出成形及び加硫シミュレーションについて概要を解説する。	(株)平泉洋行 谷田部 豊将 氏
		【座長】日本ゼオン(株) 立石 洋平
14:50～15:40	ゴムの押出し工程における流動シミュレーション技術 本講演では汎用熱流体ソフトウェアを用いたゴムの押出し工程に関するシミュレーション事例について紹介し、これらのシミュレーション上の技術的な課題とその解決法について説明する。	TOYO TIRE(株) 田中 嘉宏 氏
15:40～16:30	シミュレーションのための加工性評価 シミュレーションで入力される未加硫ゴムの物性値について、測定方法や測定時の注意点を解説する。	(一財)化学物質評価研究機構 近藤 寛朗 氏
16:30～16:40	閉会のあいさつ	成形加工技術研究分科会副主査 佐藤 有二

※プログラムは一部変更になる場合がございます。

☆お申込みはホームページ <http://www.srij.or.jp/> からお願いします。